

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

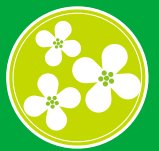
2012
平成24年

10.15

コスモスが告げる 秋の訪れ!

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーターカメラリポート「海鳴 UMINARI」	
市制施行10周年キャッチフレーズ募集・「産直レシビ」	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールリポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
お知らせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターカメラリポート…………… 2ページ
- 市制施行10周年キャッチフレーズ「産直レシビ」… 3ページ
- 地域の話題（童浦校区）…………… 4ページ
- 市民活動を応援するページ…………… 5ページ

広報サポーターカメラリポート

「海鳴 UMINARI アートフェスティバル2012」



皆さんこんにちは。広報サポーターの河合です。9月29日（土）に谷ノ口（南神戸町）で開催された、表浜ほうべの森キャンプ場プレオープンイベント「海鳴 UMINARI アートフェスティバル2012」の取材に出かけてきました。今回は、出店されていた各ブースやイベントについてご紹介します。



河合
(神戸校区)

▲内容も盛りだくさんで、手作りの温かさや自然・環境への思いが伝わる、とてもハートフルなイベントでした。(写真：イベントの様子)

表

浜ほうべの森キャンプ場予定地で開かれたこのイベントは、森と海が共存する自然豊かな魅力を知ってもらおうと開催されたものです。会場の入口には、キャンドルが飾られた流木アートのモニュメントがあり、夜になりライトアップされると、足を止めて写真を撮る多くの人が見られました。

イベントには、オリジナルポストカードやCD、手作りのアクセサリやキャンドルの販売、藍染め絞り体験、工作教室のコーナーなどが設けられ、多くの人でにぎわっていました。地元の地引網会の皆さんによる豪快なサンマの炭火焼きは、燃料に竹を使っている環境にもやさしくエコだと思いました。

また、特別企画のフリーペイントウォールは、最後には余白が見当たらないくらいに描かれ、圧倒されました。

参加者は、種子島出身の漁師兼カメラマンのウミガメのお話では、自然や命の大切さなどを感じ取り、龍宮太鼓やフラダンスショーでは盛り上がり楽しんでいました。



●フラダンス

●ライトアップ

●キャンドル

●フリーペイントウォール



イベントに出店し、前日からキャンプをしていた方たちから「流し台や仮設トイレもきれいで使いやすいです。また来たいです」との感想を聞き、うれしく思いました。詳しいイベントの様子は、**報サポーターブログ「風の街のたはら」**の10月1日の記事に掲載してありますのでご覧ください。

♥ <http://kohotahara.dosugoi.net/>

市制施行10周年キャッチフレーズ

募集

平成25年度に市制施行10周年の節目を迎える田原市。これに合わせ、市の魅力や未来を想像し、親しみがもてるキャッチフレーズを募集します。ぜひご応募ください。



●募集内容

●田原市の魅力をPRできるもの

●田原市の未来を想像させるもの

※文字数は20文字以内

●応募資格

市内在住または在勤・在学の方

●応募方法

11月20日（火）までに所定の応募用紙に必要事項を記入、または郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・職業または学校名・電話番号・キャッチフレーズ・それをつけた理由を明記し、直接またはFAX、Eメール、郵送、応募箱への投函にて。
 ※応募用紙・応募箱は政策推進課、赤羽根市民センター、渥美支所、中央図書館に配置

●賞

●最優秀賞1点／賞品としてギフトカード2万円分

●優秀賞2点／賞品としてギフトカード5000円分

※同じキャッチフレーズの応募者複数の場合は抽選

●参加賞／抽選で10名の方にギフトカード2000円分

●発表

●発表

最優秀賞（採用作品）は、広報たはらなどで発表予定（採用者には直接通知）。優秀賞と参加賞当選者は、賞品の発送をもって発表とします。

●その他

キャッチフレーズは未発表で、共同作品でないものとします。採用作品のすべての権利は、田原市に帰属します。個人情報保護適正に管理し、今回の募集に必要な業務のみに使用します。

▼応募・問い合わせ先

田原市役所 政策推進課

〒441-3492（住所不要）

☎23局35007 FAX23局06669

✉seisaku@city.tahara.aich.jp

「たね」の簡単＆おいしい『産直レシピ』

広報サポーターの「たね」が「旬を上手に、手軽でおいしく、誰にでも簡単にできる料理」をテーマに、今回は「サツマイモ」を使ったレシピをお届けします。

サツマイモのサラダ

【材料1人分】

1人分のエネルギー147kcal（たんぱく質2.4g）

- サツマイモ 70g ●キウイフルーツ 20g
- ロースハム 8g ●マヨネーズ 4g

【作り方】

- 1 サツマイモは、1.5cmぐらいのさいの目切りにし、水にさらしておく。
- 2 キウイフルーツも、1cmぐらいのさいの目切りにする。
- 3 ロースハムは、1cmの色紙切りにする。
- 4 サツマイモの水を切り、レンジまたは蒸し器で柔らかくなるまで加熱する。
- 5 蒸し上がったサツマイモのあら熱をとり、キウイフルーツ、ロースハム、マヨネーズと和える。

★おすすめポイント…おかずというよりは休め、のようなサラダです。キウイフルーツの緑、ハムのピンク、サツマイモの黄色で彩りもキレイです！



このサラダは、ビタミンCと食物繊維を一緒においしく取ることのできるメニューです。サツマイモは加熱してもビタミンCが壊れにくい特長があります。またキウイフルーツも、ビタミンC、食物繊維の多い果物です。キウイフルーツには、タンパク質の分解酵素も含まれているため、ロースハムの消化・吸収を助けます。



地域の話題

童浦校区

子どものころから考えよう

防災教育／防災キャンプ

童浦校区コミュニティ協議会から、災害や災害時の対応を学び、避難所体験をする防災教育について、お便りが届きました。



近くにある浦区自治会の防災倉庫などを見学し、災害時用の機器などが備えられていることや、自主防災会の取り組みについて学びました。

今後も学びの機会を提供

2日間、防災について学び、避難所の生活を体験した子どもたち。「家に帰ったら家族で防災について話したい」「非常持ち出し袋を点検したい」などの感想があり、子どもたちの防災意識の向上につながったようです。

今後も、童浦小学校と協力し合い、地域の子もたちが「考える力」を養い、自分の命を守るために、さまざまな学びや体験の機会を提供していきます。



▲避難所の居住空間について班ごとに話し合い



▲段ボールを使って避難所に仕切りを作る子どもたち

8月23日(木)・24日(金)、童浦小学校6年生を中心に、童浦市民館を避難所と想定した避難所体験(宿泊体験)などを行う防災キャンプを実施しました。

子どもから始める

防災対策・防災意識の向上

子どもに対して防災教育をすることは、家庭での防災意識の向上につながります。そして地域全体の意識が向上し、地域防災力の強化が図れます。

地域が一体となって企画・運営

防災キャンプの実施にあたっては、校区コミュニティ協議会会長と童浦小学校校長を中心に、コミュニティ協議会の福祉交流部会、生活環

境部会、消防団、子供会、PTA、学校や行政で組織した実行委員会企画・運営を行い、より良い学びの機会となるように話し合いを重ねました。

多くを学んだ防災キャンプ

防災キャンプ初日、子どもたちは、避難所の居住空間について話し合いました。なかなか意見がまとまらず、さまざまな意見が出る中で意思決定していく大変さを学びました。

そして、ホールに敷かれた段ボールで宿泊し、食事は、限られた食器を使って非常食を食べました。子どもたちは、東日本大震災の被災者の方々の大変さを身をもって知ることができたようです。

防災キャンプ2日目には、市民館の



●飲料水兼用耐震性貯水槽からの水くみも体験



市民活動を応援するページ



市民協働ニュース

第6回どすごい交流会

東三河はひとつ～こころざしの縁を結ぼう～

「どすごい交流会」とは、東三河5市（田原・豊橋・豊川・蒲郡・新城）で活動する市民活動団体が集まり、交流を深めるイベントです。もちろん、一般の方にもご参加いただけます。東三河の市民活動に関するクイズがあったり、どすごいレンジャーが登場したりと、子どもから大人まで楽しめるイベントです。

ぜひ、お問い合わせの上、ご来場ください。

●第6回どすごい交流会

日時	11月4日（日）10:00～15:30
場所	豊川稲荷大駐車場（豊川市幸町46番地）
内容	東三河の市民活動団体による活動紹介 どすごいレンジャーショー どすごいネット天オクイズ（★景品あり）

参加費 無料（申込不要／どなたでもお越しください）

同時開催 「東三河LAND～来て！見て！遊んで！！みんなの縁日（えにしのひ）～」【主催】豊橋青年会議所
数多くの東三河の企業や市民活動団体が出展し、東三河の特産物や地理について学べる体験ツアーやフリーマーケットなどが行われます。

その他 『どすごいネット』では、イベントの詳細をお知らせしています。ぜひご覧ください。

HP <http://genki365.net/gnkh02/pub/index.php>



▲力を合わせて東三河の市民活動を応援し、人々のきずなを守る戦士「どすごいレンジャー」

イベント
情報

市民活動ニュース

→このコーナーに掲載する情報を募集中！頁下段の連絡先まで。

日時	イベント名・内容	会場・費用など	問い合わせ・連絡先
11/11 日 8:00～12:00	海釣り大会 どなたでも参加できます。賞品あり！	受付：谷ノ口公民館 釣り場：南町～東ヶ谷海岸 釣果報告：13:00～14:00 費用：500円	谷ノ口公園準備委員会 ☎090-5458-9152（福井） 神戸市民館 ☎22局0980
11/4 日 11:45～14:30	海の環境を学ぶ会 ～海水から作った塩で おにぎりを食べよう～	集合：休暇村伊良湖キャンプ場 費用：300～1300円 定員：50名（先着順） 申込期限：10/26 金	環境ボランティアサークル亀の子隊 ☎090-9123-7983（鈴木）
11/18 日 10:00～11:00	西の浜クリーンアップ活動 毎月定例の海岸清掃（亀の子隊の主活動）	会場：西の浜海岸 費用：無料 申込：不要・当日参加可 ※軍手などは亀の子隊が準備	✉yoshiharu@kamenoko.org HP http://www.kamenoko.org/

田原市民活動支援センター

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

❶ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。（毎週 木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース）

❷ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

❸ お問い合わせ：☎22局1111（内線812）※開設時間のみ ☎23局0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 61

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での『えのみ学習』の様子と、中学校の「温室での野菜栽培」の様子をお知らせします。

●学校教育課 ☎ 23局3679

田原東部小学校「研究推進」

『えのみ学習』で考える力を伸ばそう！

田原東部小学校では、「体験から豊かな考えを得る」「かかわり合いを通して考えが伸びる」「学びの成果が実る」学習過程を、学校の木にちなんで『えのみ学習』と名付け、各教科の学習に取り入れています。

4年の総合的な学習「ふるさと川探検隊」では、校区にある2つの川の探検から学習をスタートさせました。子どもたちは、川にすむ生き物を捕まえることに夢中になり、やがて川の様子や生き物の種類などを関係付けて考え、調べるようになっていきました。

3年の社会科「東部・ふしぎ発見」では、校区探検を行い、家の集まり方や土地利用の違いに目を向け、調査を行いました。学習の終わりには、学んだことをクイズにして、楽しく学びを振り返ることができました。

今後も、体験を効果的に生かした『えのみ学習』を推進し、子どもたちを心身ともに大きく育てたいと思います。



●たくさん生き物を捕まえたよ



●校区クイズに答えられるかな？



●トマトとナス、ピーマンの苗を植えたよ



●たくさんサツマイモが採れるといいね

赤羽根中学校「温室での野菜栽培」

『自分でできる力、を育む野菜栽培！』

赤羽根中学校では、昨年度、「特色ある学校づくり事業」で、老朽化した温室の建て直しを行いました。

温室を利用するのは、主に特別支援学級の生徒たちです。生徒たちは、作物ができるように畑作りから取りかかりましたが、石がいっぱいで、畝をつくるのは苦労していました。

立派にできた畑を利用して、技術科の「生物育成」で、ナスやピーマン、トマトなどの野菜を植えたり、サツマイモを植えたりしました。野菜の世話は、生徒たちが作業の時間などを使い行っています。ナスやキュウリは、1学期のうちに2度収穫し、先生方が購入しました。

また、サツマイモを植えた後は、根付くまで水を毎日かけるということで、みんなで協力し、たっぷりの水をかけました。9月の終わりには、たくさんのサツマイモを収穫することができました。

2学期も楽しく野菜を栽培し、『自分でできる力、を育てたい』と考えています。

9月26日水

みんなでなくそう
交通死亡事故

市役所前広場で「2012めざせ交通事故死ゼロのまち」緊急アピール出陣式が行われました。これは、市内で今年2件目の死亡事故が発生したことを受けて実施されたもので、市民への緊急アピールのため、白バイなどが市内の警戒に出陣しました。



▲サイレンを鳴らしながら、市内の警戒に出陣する白バイ隊

Hello, everyone!!
(ハロー、エブリワン!!)

私たちは
英語指導助手 (ALT) ^{エーエルティー} です。

私たちは、市内の小・中学校で英語を教えています。また、私たちの国の文化に触れ、子どもたちが国際理解を深めるきっかけにもなっています。

アリソン デービス
Allison Davis 先生



▶田原中・東部中・大草小・田原東部小・田原南部小・亀山小
清田小 (H24年9月～)

はじめまして。これから「アリー」と呼んでください。田原市はとても美しいまちで、大変気に入りました。みなさんとたくさんお話がしたいです。よろしくお願ひします。

マリッサ キャサリン
Marissa Katherine 先生



▶野田中・福江中・六連小・高松小・若戸小・福江小
(H24年4月～)

はじめまして。アメリカのカンザス州出身です。今年の4月から田原市でALTをしています。田原市の子どもたちと一緒に学習できてとてもうれしいです。がんばります。

テイラー トラスラー
Taylor Trusler 先生



▶赤羽根中・伊良湖岬中・和地小・堀切小・伊良湖小・中山小
(H21年9月～)

田原市のALTとして4年目になります。この3年間、とても楽しく英語の授業ができました。これからも、もっと楽しく活動したいと思っています。よろしくお願ひします。

キム マクラウド
Kimberly Mcleod 先生



▶泉中・神戸小・童浦小・田原中部小・衣笠小・野田小・泉小
赤羽根小 (H23年8月～)

ALTとして田原市に来て、あっという間に1年が過ぎました。毎日、子どもたちと勉強することができて、とても楽しいです。今年も英語の授業を一緒にがんばりましょう。

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想



●緑のカーテンで節電を意識したエコライフを!

田原市では、夏の省エネルギー対策として、ゴーヤやアサガオなどの「緑のカーテン」設置を推進しています。今年も、市内保育園幼稚園(20園)、小学校(8校)、中学校(3校)、市民館(8施設)、その他施設(14施設)の計53施設で実施しました。

●緑のカーテンの効果

緑のカーテンは、窓から入り込む日差しを遮り、壁や地面の表面温度を抑えることで、室内の温度上昇も抑える効果があります。エアコンなどの



●加治保育園

電気使用量も抑制することができます。



●緑のカーテンで環境学習

6月に台風が接近したため、緑のカーテンの生育への影響が心配されました。しかし、各保育園や小学校などでは、子どもたちが一生懸命に育てたおかげで、8月に入ると、ネットいっぱい緑のカーテンが育ちました。

子どもたちは、緑のカーテンの成長を記録するための観察会やアサガオの花を使った色水遊び、育てたゴーヤの実を使ったエコクッキングなどを行いました。さまざまな環境



●野田小学校

学習会を通して、楽しみながら節電やエコエネルギーについて学びました。

◎たはらエコチャレンジ宣言登録者数個人1900人・事業所80か所(9月末現在)

▼エコエネ推進課

☎23局7401 FAX23局0180

環境戦隊たはらエコレンジャー



ゴミモンとリサイクルレンジャー

最近、市民の皆さんから、「ごみステーションに、事業所からのごみが出されている」とご連絡をいただくことがあります。今回は事業系ごみについてご紹介します。



●事業系ごみとは

会社・工場・飲食店・官公署など事業所から出るごみのことです。このうち、法律で定められた20種類の産業廃棄物(廃油、廃プラスチック、建築廃材など)を除いたごみを、事業系一般廃棄物(事務室から出る紙くず、レストランの生ごみ、農業で使った紙袋など)といいます。

また事業系ごみは、法律で「事業者の責務において適正に処分しなければならぬ」と定められています。

わずかな量でも、ごみステーションに事業系ごみを出すと「不法投棄」とみなされます。

ごみステーションには絶対に出さないでください。



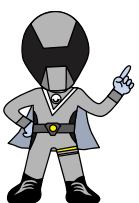
●間違ってお出された事業系ごみ

実際に、ごみステーションに出されていた事業系ごみの一例をご紹介します。

業務伝票、配送に使用した梱包資材、電照栽培用電球、農業用ビニールシートの紙芯、農薬の空容器、飲食店の残飯・割り箸、ペンキの空缶、漁業用フイ など

❗ごみステーションに事業系ごみが出されても収集しません。

が収集しません。



●事業系ごみの処理方法

●産業廃棄物

市では収集しません。また、一部を除き市処理施設では受け入れません。産業廃棄物処理許可業者にご相談ください。

●事業系一般廃棄物

市では収集しません。処理施設に直接搬入するか、一般廃棄物収集運搬許可業者に委託してください。

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180

交 流 通 信

【国内外との交流・多文化共生】

グリーンメッセージと設楽町とのスポーツ交流

姉妹都市、設楽町にあるグリーンメッセージなどをご紹介します。

●津具高原ペンション グリーンメッセージ*

田原市と姉妹都市、設楽町との交流拠点施設「グリーンメッセージ」。愛知県と長野県の県境、標高900mにある道の駅つく高原グリーンパークに隣接しています。この時期は、紅葉が目に見え、夜はライトアップも行っています。冬は天体観測やペンション裏で行える雪そりが人気です。*「田原市ふれあいの館」の愛称

●田原市民にお得な割引制度

市民の皆さん(市内在住・在勤・在学の方)には、お得な宿泊割引制度があります。宿泊予約などはグリーン

●洋室 1泊2日(田原市民料金)

区分	2食付き	食事なし
高校生以上	5,700円	1,700円
小・中学生	4,100円	1,150円

●お問い合わせ

・田原市役所 政策推進課 ☎23局3507
 ・グリーンメッセージ(田原市ふれあいの館)
 ☎(0536)83局2343 <http://juns-kitchen.com/>



●剣道交流の様子

メッセージへ、割引制度については政策推進課へお気軽にお問い合わせください。

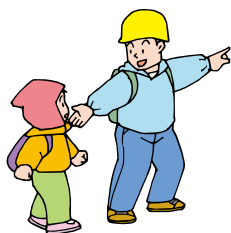
●スポーツ少年団の剣道交流

9月8日(土)、設楽町の特産物振興センターで、田原市・設楽町の両スポーツ少年団(田原市15名・設楽町児童11名)による剣道の親善試合が行われました。子どもたちは、最初は緊張していたものの、いっしょに汗を流すと、すぐに打ち解けてさわやかな笑顔を見せていました。

試合の後は、豊邦交流センターにおいて、五平餅づくりや川遊びなどで交流を深めました。

●実施目的と内容
 地震や津波などの災害時における防災体制の確立のため、県や市町村などの行政機関と自主防災会や企業が合同で実施。津波からの避難訓練のほか、桶門の操作訓練、要救助者の救出搬送訓練、高齢者への支援講習、防

●開催日
 11月10日(土)
 午前8時～
 ●場所
 田原中学校
 (メイン会場)、笠山公園、中山小学校、渥美運動公園



●訓練の概要
 多町で開催)となります。
 今年が第2回目(第1回目は南知多町で開催)となります。
 ●参加者
 警察、消防、自衛隊、海上保安庁などのほか、臨海部企業や4会場を避難場所としている地元自主防災会も参加

●開催日
 11月10日(土)午前8時～(午前8時に地震発生、同2分には大津波警報発表を放送とサイレンでお知らせ)
 ●放送が流れたら
 非常持出袋を持って、各地区の集会所まで徒歩で避難
 ▼防災対策課 ☎23局3548

●同日開催します
 毎年11月の第2日曜日に行われていた同訓練。今年も津波・地震防災訓練と同日開催します。各地区自主防災会の主催で、各集会所などにおいて実施されます。皆さんも訓練に参加して、自分の役割やとるべき行動などを確認しましょう。

●参加者
 警察、消防、自衛隊、海上保安庁などのほか、臨海部企業や4会場を避難場所としている地元自主防災会も参加

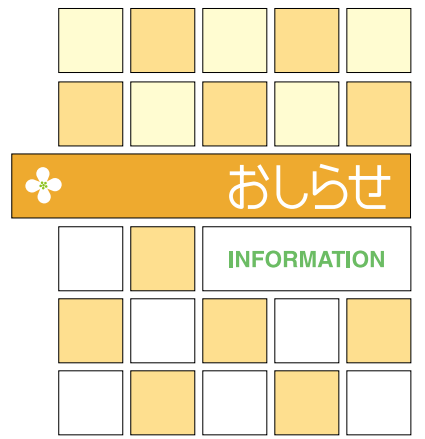
みんなで取り組む防災・減災

けんちゃん

防災知恵袋

18

愛知県・田原市合同の津波・地震防災訓練



募集

WANTED

防犯ボランティア 養成アカデミー 受講者

犯罪情勢や防犯対策についての講演を開催します。防犯活動に関心のある方は、ぜひご参加ください。

▼日時 12月5日(水) 午後1時30分
▼場所 田原市役所講堂(南庁舎6階)
▼講演内容 「私たちの『底力』がまちを守る!」
▼講師 黒川敬氏(NHK制作局「難問解決!ご近所の底力」などを制作)
▼定員 50名(先着順)
▼受講料 無料
▼申し込み 11月22日(木)までに電話にて

▼市民協働課 ☎23局3504

パソコン教室 受講者

▼対象 市内在住・在勤の18歳以上の方
▼コース/開催日・時間/受講料
▼申し込み 直接または電話・Eメールにて

コース	開催日	時間	受講料
はじめての方のパソコン入門	11/6火・11/8木 11/13火・11/15木	9:00~12:00	無料
表計算初級 (エクセル2007)	11/4日・11/11日 11/18日・11/25日	9:00~11:00	1000円
文書作成中級 (ワード2007)	11/6火・11/8木 11/13火・11/15木	13:30~15:30	1500円
デジカメ写真の活用	11/4日・11/11日	13:30~16:30	1500円
年賀状作成①	11/18日・11/25日	13:30~15:30	1000円
年賀状作成②	12/4火・12/6木	9:00~11:00	1000円
はじめてのインターネット・電子メール	12/4火・12/6木	13:30~15:30	無料

田原市立小・中学校 常勤非常勤講師

☒ jyosys@city.tahara.aichi.jp

▼応募資格 以下の要件をいずれも満たす方
①子どもが好きで学校教育に熱心に取り組むことができる方
②教員免許所持者(採用時に取得見込みの方も可)
▼受付期間 随時(市役所執務時間中)
▼申し込み 市販の履歴書に顔写真を貼り、必要事項を記入のうえ直接または郵送にて
▼学校教育課
(〒441-3492 住所不要)
☎23局3679 FAX22局3811



消防設備士 試験

▼対象 一般
▼試験日 12月23日(日・祝)
▼場所 名古屋市名城大

生活

LIFE

地域とともに生きる矯正施設 「豊橋矯正展」

矯正展は、皆さんに広く矯正行政に対する理解を深めていただくことを目的に開催します。

▼日時 11月10日(土) 午前9時30分~午後3時
▼場所 豊橋刑務支所(豊橋市今橋町15番地/豊橋公園東側)
▼内容 刑務所作業製品展示即売ほか
▼駐車場 豊橋市役所職員駐車場をご利用ください。

▼豊橋刑務支所処遇部門第二 ☎(0532)53局5916

学天白キャンパス内
▼種類 甲種特類を含む甲種全類・乙種全類
▼申し込み ①書面申請 11月12日(月)~21日(水)の期間に消防課窓口または消防署・各分署で配布する受験願書に必要事項を記入のうえ郵送
②電子申請 11月9日(金)午前9時~18日(日)午後5時の期間に財団法人消防試験研究センターホームページ (<http://www.shoubo-shiken.or.jp/>) ごと
▼消防課 ☎23局4074

夜間離着陸訓練を実施

愛知県防災航空隊ヘリコプターと消防署との合同による夜間離着陸訓練を行います。



訓練中は騒音が発生します。また、訓練会場への立入り制限を行います。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

▼日時 11月2日(金) 午後5時～7時ごろまで
▼場所 白谷海浜公園周辺
▼その他 雨天・荒天の場合は、訓練を中止します。

▼消防署

☎23局4075 FAX23局2440

投票所の入場券が封筒式に変わります

これまででは、一人に一枚ずつ、はがきサイズの入場券をお送りしていましたが、次に行われる選挙から、封筒により、同世帯の方の入場券をお送りします。

新しい入場券は、圧着式の3つ折封筒で、開封した面に、6人分の入場券が印刷されます。

はがき
入場券



封筒	入場券	入場券
	入場券	入場券
	入場券	入場券

ミシン目により、自分の氏名が記載された入場券を封筒から切り離して使用してください。詳しくは、選挙実施の際に、あらためてお知らせします。

▼田原市選挙管理委員会

☎23局3506

「見えにくさ」についてお悩みの方、相談ください

視覚障害がある方々の生活や学習をサポートする無料のサービスを行っています。

見えにくい、見えないお子さんのことで悩んでいる保護者の方、あるいは病気や事故で見えにくくなった、視力を失ったりした大人の方、お気軽にご相談ください。

▼受付 随時(土・日・祝日を除く)



▼愛知県立岡崎盲学校

☎(0564)52局1282

放置自転車クリーンキャンペーン 11月1日(木)～30日(金)

自転車を放置しておく、街の景観が損なわれるだけでなく、事故や防災面でも問題になります。自転車置き場を有効に活用しましょう。

また、自転車置き場には、長期間放置されている自転車があります。キャンペーン期間中、駅周辺などの放置自転車の整理、撤去作業を実施します。放置自転車減少に、ご理解とご協力をお願いします。



▼市民協働課
☎23局3504 FAX23局0180

自動車事故被害者援護制度

独立行政法人自動車事故対策機構では、被害者援護の増進を目的として、次の業務を行っています。

● 中学校卒業までの交通遺児への育成資金の貸し付け(無利子)

● 自動車事故による重度後遺症障害者を抱える家庭への介護料の支給

▼自動車事故対策機構名古屋主管支所

☎(052)571局1537
▼市民協働課 ☎23局3504

クリーン排水推進月間 浄化槽強調月間

愛知県では、毎年10月を「クリーン排水推進月間」および「浄化槽強調月間」と定めています。生活排水対策は、一人ひとりの取り組みが大きな効果につながります。皆さんも、できることから始めてみませんか。

◆身近な生活排水対策

- 食べ残し・飲み残しをしない
- 三角コーナーや水切りネットを活用し、汚れを取り除く

◆浄化槽の適正管理

浄化槽の管理を行う方は、保守点検・清掃の実施・法定検査を受けることが法律で定められています。

▼愛知県環境部水地盤環境課
☎(052)954局6219

寄付

DONATION

次の方からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼9月28日、豊橋商工信用組合地域貢献基金 会長 兵藤俊朗様から学校教育活動推進のため、防災用品として市内全20小学校へ、サイレン音付ハンド型マイク(メガホン)40台。

歴史探訪

クラブ

其の139

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局3635
FAX 22局3811

渥美半島の葉タバコ栽培①

日本の喫煙文化は江戸時代から盛んになりました。喫煙とは、タバコの葉を乾燥させ加工したものに火をつけ、その煙を吸うというものです。タバコは、戦後ますます需要が高まりました。映画の中の人気俳優が吸う「カッコイイ姿」もその増えた理由の一つです。

しかし、平成15年、健康に悪影響があることから、健康増進法が施行されました。それ以降、急速に公共交通機関・施設などにも喫煙場所が

なくなり、喫煙をめぐる社会情勢は変化しています。

さて、渥美半島は東海地方でも有数の葉タバコの栽培が盛んなどころです。歴史探訪クラブ89号でもご紹介した渥美半島のことを児童がまとめた『半島渥美』（昭和16年）に、大草尋常小学校の児童が葉タバコ栽培について、「昭和14年に神戸町で6・7段試験的に作ったのみが、神戸村で約20町歩程作っている」と書いています。試作を始めて2年足らずで、

地域を代表する産業と紹介されていくということは、よほど期待が高かったのでしょう。また「煙草の仕事は、いも麦三作とれるし、どんな子どもでも役に立つてよい」と作付けの効率化のプラス面ばかりでなく、子どもでもお手伝いもしやすい格好の作物として記しています。面積当たりの生産額が高いのが一番の魅力でした。

その後、神戸・大草町を中心に、渥美半島一体で栽培が本格化します。それ以前は、農家の重要な収入となっていた

たのは養蚕ようさんでした。しかし世界恐慌を期に絹の需要が減ると、養蚕農家はその対応策として、葉タバコの栽培を行ったようです。また、高度成長期で嗜好品としてのタバコの需要も高まり、葉タバコ栽培はますます盛んになりました。

最も盛んな昭和30年代から40年代後半には、取材をした大草町のある地区では、ほとんどの農家が葉タバコの栽培をしていたほどです。昭和43年の豊川用水の全面通水とともに

に、葉タバコの生産地でもスイカやメロンなどのさまざまな作物が作られるようになり、葉タバコ栽培農家数は減りました。しかし、収穫量は変わることなく、昭和50年代後半にはピークを迎えました。葉タバコ栽培の黄金期ともいえます。

日本でのタバコ消費量のピークは平成8年ごろまでですが、渥美半島では昭和の終わりとともに、栽培農家も収穫量も減少していききました。その理由の一つは、葉タバコの病気の流行、外国産葉タバコの輸入により、価格が上がらなくなったからだと思います。

現在では、葉タバコの畑を見ることも少なくなっています。

・・・葉タバコ栽培②に続く
(増山)



●神戸町の葉タバコ栽培地（平成23年6月3日撮影）

今月の「表紙」

▼今年、夏の暑さが長引き、咲き始めが遅かったというコスモス。まだ暑くても、コスモスの花を見ると、なんとなく秋がきたような気分になります。華奢なイメージですが、台風17号の強風で倒されても、起き上がろうとするたくましい花です。その強さとしなやかさ、私も見習わねば。(O)

【表紙の写真】コスモス畑(サンテパルクたはら)